



コロナウィルス感染対策と猛暑の中で・・・

97 年ぶりの北海道の酷暑(38.4 度)、猛暑日連続記録観測史上初めて！という異例づくしの 7 月が過ぎ、8 月を向かえました。1 年、2 年生は夏期休暇に入りました。3 年生は前倒して 5 月に夏期休暇をとり、6 月 21 日から学内実習を開始しています。この間にコロナワクチン予防接種を受けることがで、8 月 2 日から実習施設での臨地実習を再開しました。3 年生は臨地実習での学びに感謝し、日々を大切に、丁寧に真剣に学習に取り組んでいます。今年も昨年と同様に三密をさけるため 3 名に分かれ学内実習と臨地実習とを平行し実施しています。1 年生の基礎看護学実習Ⅰ－①と2年生の老年看護学実習Ⅰはコロナウィルス感染症が蔓延していたこと、ワクチン未接種であること等から学内実習としました。次の実習からは、実習施設に出向き患者さんへ看護ができることを願っています。

7 月 26 日から 30 日までオープンキャンパスを実施致しました。猛暑の中、多くの皆さんにご参加頂きありがとうございました。

「看心ふらの」2 号では、学内実習、オープンキャンパスの状況について紹介致します。

(校長 澤田貴美子)

5 月

基礎看護学実習Ⅰ－① 1 年生

実習全体、基礎看護学実習Ⅰ－① オリエンテーション 科目担当教員：山崎麻美

リスクオリエンテーション…実習におけるマナーについてグループワーク

「安全な実習のための医療接遇とコミュニケーション」を一部使用 あいさつ、ホウ・レン・ソウ、言葉遣いなど
実習 1 日目

実習目標 1. 対象の療養生活を知る、対象の生活の場、安全・安楽がどのように守られているのかを学習する。

「ビデオ視聴」→「看護における医療環境Ⅰ・Ⅱ」を視聴し、病院・病棟の構造を知ることと、それらが対象の安全・安楽の確保にどう関わっているのかを学習し、グループで共有。

「動画視聴」→病院の組織体制や多職種との連携、看護サービスの提供の方式などを知る



実習 2 日目 AM：自分たちの実習先の病院の概要を学習。PM：実習目標 2. 対象とのコミュニケーション技法を学ぶ。さまざまなケースのコミュニケーション場面を読み込んで、考察する。



実習 3 日目 コミュニケーション技法について学ぶ。

「動画視聴」→その場面での対応について考える（個人ワーク→グループワーク）

「患者理解と言葉かけ」→患者から寄せられた言葉に対して、その言葉をどう受け止め どんな言葉がけをするかを考える（個人ワーク→グループワーク）



実習 4 日目 クラスカンファレンス

AM：準備 PM：発表 学びの共有



看護学生として初めての实習でした。校内での実習となりましたが熱心に取り組む姿勢に感動しました！入学から4か月が過ぎました。代表してお二人に感想を書いていただきました。

金田 紗弥さん

入学してから数ヶ月が経過し、学校生活にも少し慣れてきました。クラスの人たちとの交流もあり、有意義な環境で勉学に励むことができます。

武田 朋也さん

私は富良野看護専門学校に入学して、毎日楽しく過ごしています。新型コロナウイルスの影響により、病院実習や学校行事などのイベントがなくなりましたが、クラスでの交流時間が増え、関係が深まりました！！！！

6月

老年看護学実習 I

6月7日(月)～ 25日(金) 2年生

老年看護学実習の目的: 老年期の対象の特徴を理解し、高齢者の健康状態に応じた日常生活を学ぶ。

学内実習では、高齢者施設を知ること、介護保険の申請方法を知ingことを事例の展開を通して、具体的な申請方法から実際に施設や自宅に帰るまでの流れを考えられる内容構成としました。高齢者施設を知ることでは、富良野市内の高齢施設のマップを作成し、各施設の特徴・役割、位置関係の理解を深めることができました。また、自宅に帰る対象に対し、残存機能を維持、向上し、楽しみながらできるレクリエーションをグループで検討し発表しました。発表では他グループメンバーが患者(利用者)役となり場面・状況を想定し、実際に近い形で実践しました。実際にレクリエーションを体験することでさらに学びを共有することができました。事例の展開では情報整理・アセスメント、看護計画立案にじっくりと取り組み、介護保険に関する理解も深めることができました。

科目担当教員: 井上量子



辻澤 菜日琉さん

老年看護学実習ではレクリエーションの効果や対象にあわせて実施することの重要性を学ぶことができました。次回の実習ではいままでの学びを生かしてよりよい援助を実施したいです。



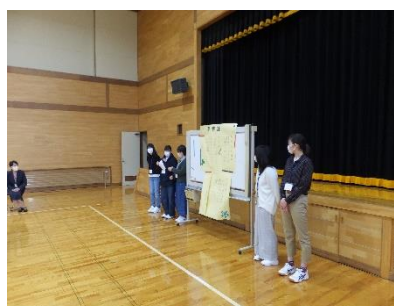
岡田 菜穂さん

新型コロナの影響により学内実習でしたが、入念に患者さんのことを分析し適切なケアを考えることができました。今回学んだことを今後の実習でも活かして行きたいです。



小手川 桜華さん

今回の老年看護学実習は、前回に引き続き学内での実習となり、特に疾患についての学習を深めることができました。次回の成人看護学実習でも疾患の理解をした上で看護を実践したいです。



6月

領域別実習

6月21日(月)～11月5日(金)

9月13日～9月24日は夏期休暇と学内学習

統合実習

11月22日(月)～12月10日 3年生

3年生の臨地実習は6月21日から開始しています。実習は6領域(成人看護学実習Ⅲ、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、在宅看護論実習)の領域別実習と3年間の集大成である統合実習です。1クール3週間で21週間の実習となります。最初の1クールはコロナウィルスワクチン未接種であったため、学内実習から開始し、8月2日から全領域の実習施設での実習をはじめることができました。3年生は昨年の成人看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅱともに学内実習でしたので半年ぶりの臨地実習となります。前半は4クール、12週間連続します。その後、夏期休暇と学内学習2週間挟み、後半2クール6週間連続します。感染対策をとり、自己の健康管理に努めましょう！これまでの経験を生かし、ひとつひとつの学びを積み重ね、「看護師らしく成長できる」実習となりますことを期待しています。



成人看護学実習(市立芦別病院)



精神看護学実習(北の峰病院・施設)



小児看護学実習(幼稚園・協会病院)



母性看護学実習(協会病院・保健センター)



老年看護学実習(協会病院・北の峰ハイツ寿光園)

7月

オープンキャンパス

開催

7月26日(月)～30日(金) 5日間

記録的な猛暑の中、オープンキャンパスに参加していただきありがとうございます。三密をさけるため、1回の参加者を10名程度、時間を1時間とさせて頂き、延べ10回開催いたしました。参加者は79名、保護者13名の92名でした。富良野市内の富良野高校、緑峰高校をはじめ、旭川、留萌、滝川、芦別、士別、名寄、静内、札幌からの参加でした。内容は教育課程の説明、学校施設、設備の説明・見学、講義の体験、1年生との交流会(1回のみ)でした。「**看護師を目指す夢**」一緒に叶えましょう！また、お会いできますことを楽しみにしています。



コロナウィルス感染症は変異株が猛威をふるっています。収束を願い、明るい未来を信じて今を耐え充実した日々を過ごしましょう。次回は12月に発行します。